

平成26年度 西川小学校の経営概要

1 山形県・西川町の学校教育目標と指導の方針

山形県

※第5次山形県教育振興計画まとめの年

山形県学校教育目標

知徳体が調和し、「いのち」輝く人間の育成

～変化する時代を主体的に生き抜く力をはぐくむ「いのちの教育」～（後期プラン）

いのちの教育 3つの柱

- ① 自分を大切に思える気持ち（自尊感情）を育てる
- ② いのちのつながりと多様性に気づかせる
- ③ いのちの尊さと人間としての生き方をしっかり教える

西川町

西川町学校教育目標

ふるさとを愛し 高い志をもち ぶなのようにたくましく ともに学ぶ子ども

【平成26年度 西川町学校教育指導の重点 「継続」と「共創」】

具体的な子どもの姿による語り合いと（保）小中一貫教育の研究・実践をとおした学び合い

1 地域との結びつきを大切にした教育（人間の根っこを育む教育）

- ・地域教材を活用した授業づくりの奨励
- ・家庭学習及び家庭読書の習慣化運動 ～家庭学習のすすめ～の活用
- ・家庭との連携（学校支援コーディネーターの活用）

2 世代をこえ かかわりあう教育（自尊感情・互いを尊敬する心・いのち）

- ・園児、児童、生徒交流活動の取り組み
- ・ケアハイツ西川、にしかわ保育園との連携・交流
- ・地域や町各種団体とのかかわりと交流

3 子どもの未来につながる土台を構築する教育（知・徳・体調和した力）

- ・各学年・小中学校間の（9年間を通した）系統性を考えた授業の組み立て
- ・学習課題や主発問を大事にした授業づくり
- ・9年間を見通した英語活動カリキュラムの検討と作成
- ・特別支援教育の充実
- ・規範意識や他人を思いやる心の育成
- ・風雨や吹雪に立ち向かう ブナのようにたくましい心と体

（保）小中一貫教育の推進

- ・小中一貫教育理念の共有、テーマの設定、研究・研修体制の充実

2 学校教育目標

大地に根をおろし 大空に向かって
ブナのように たくましく伸びる子ども

3 めざす子ども

～いきいき挑戦 夢いっぱい ひとみ輝く西川っ子～

◇ あかるく

- *元気な返事、心に届くあいさつができる子ども
- *思いやりの心を持ち、認め合い、助け合う子ども
- *自分の夢や目標に挑戦する子ども
- *自分を大切にし、「いのち」を大切にする子ども

◇ かしこく

- *ひとみを輝かせ、
自ら学ぶ子ども、学び合う子ども
- *自分の考えを豊かに表現できる子ども
- *創造性豊かに、生き生きと学ぶ子ども

◇ たくましく

- *みんなと仲良く、元気に遊ぶ子ども
- *心も体もたくましい子ども
- *勇気を持って挑戦し努力する子ども

◇ ふるさとを大切に

- *ふるさとの自然や文化・歴史を大切にし、
ふるさとを愛する子ども

4 めざす教師

- 授業に全力を傾け、わかる楽しさ、学ぶ楽しさを教える教師
- 共に学び合い、励まし合い、高め合う教師
- 自分の創意工夫を積極的に提案し、学校経営に積極的に参画する教師
- 一人ひとりの子どもの可能性を見出し、良さを伸ばす教師
- 子どもと共に汗を流し、共に喜び、共に感動する教師
- 誠実で公平な教師、笑顔で子どもに接する教師
- 子ども・保護者・地域から信頼される教師

5 めざす学校

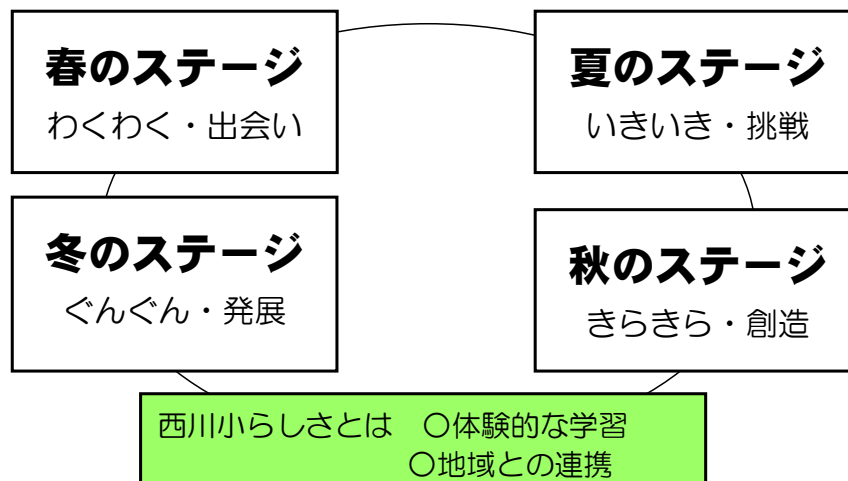
- 子どもの夢を育て、元気で勢いのある 学校
- 歌声が響き、笑顔がいっぱいの学校
- 学び合い、励まし合い、向上心あふれる学校
- 地域に学び、地域と共に歩む学校
- 安心・安全で、きれいな学校
- 保護者・地域から信頼される学校



6 経営の重点

- (1) 西川小学校らしい教育活動の展開
- (2) 認め合い 励まし合い 高め合う集団づくり
- (3) たくましい心と体を培い、ひとみ輝く子どもの育成

～四季のステージを意識した特色ある教育活動の展開～



7 経営の方針

教育目標具現化のため、学校や地域の特性を生かしながら全職員が一丸となって取り組み、知徳体が調和し「いのち」輝く人間の育成をめざす

開校3年目、西川小らしい教育活動とは何か。○体験的な学習 ○地域との連携
この二つをキーワードにして考えてみたい。そして、今まで2年間、各学校のよさを取り入れ、積み重ねてきた教育実践をもとにさらに発展させ、少しずつ形に整えていくことが必要であると思う。

(体験的な学習の系統化、西川ふるさと宝マップの活用等)

- (1) 保護者、地域に信頼される学校づくり
 - ① 学校を支える外部組織との連携・協力体制の再構築
 - ② 保護者・地域への情報発信と情報収集
 - ③ 保護者・地域と連携した教育活動の積極的な推進
 - ④ P T Aと連携した活動の推進

- (2) 教職員一人一人が参画する学校経営

- ① 自らの創意工夫を提案し、学校経営に積極的に参画する学校づくり
- ② 授業に専念し、教師と子どもがしっかり向き合える学校経営
- ③ 適度な統一性と独自性、一人ひとりの良さを生かした学校経営



(3) 安全・安心な学校づくりと「いのちの教育」の推進

- ① 徒歩通学、バス通学等、登下校時の安全確保
- ② 非常災害時における危機管理体制の構築
- ③ 地震や火災、不審者対応等避難訓練の実施と安全教育の徹底
- ④ 施設・設備の安全点検の徹底による学校事故の未然防止
- ⑤ 郷土の食材を取り入れた、安心安全な学校給食の実施
- ⑥ 食を通じた「いのちの教育」の推進、食文化を大切にした食育の推進
- ⑦ 教育活動全体において、カウンセリングマインドをもって子ども達の指導にあたる

(4) 保・小・中の一層の連携

- ① 町教育センターと一体となった連携の取り組み
- ② 保・小・中のつながりと連携を大切に交流活動の推進



(5) 図書館を活用した読書活動の推進

- ① 図書館と連携した積極的な読書活動の推進
- ② 恵まれた図書館環境を生かした授業実践と積極的な活用

(6) 特別支援教育の充実

- ① 個別のニーズに応じた指導と自立と協同を目指す特別支援教育の推進
- ② 普通学級との相互理解を深める交流学习及び共同学習の推進
- ③ 特別支援教育の支援体制の整備と充実、校内研修の推進
- ④ 全職員の共通理解、担任と学習生活補助員の連携した指導

8 学校教育目標具現化のための方策 ～重点項目より～

(1) 西川小学校らしい教育活動の展開

- ① 西川小学校らしい特色ある教育課程の編成と実施
- ② 西川町の人・自然・歴史・文化を学ぶ体験学習やふるさと学習の推進
- ③ 学校行事、授業、PTA活動等、保護者や地域と連携した教育活動の推進
- ④ カヌーやスキー、太鼓等、特色ある教育活動の積極的な推進
- ⑤ 図書館を活用した豊かな心を育む読書活動の推進
- ⑥ 小中一貫教育に向けた保・小・中連携の一層の推進
(授業研究、園児・児童・生徒・教職員の交流)

(2) 認め合い 励まし合い 高め合う集団づくり

- ① 温かな人間関係の構築とお互いのよさを認め合う集団づくり
- ② 音楽集会等の交流活動を積極的に推進し、笑顔があふれ歌声が響く学校づくり
- ③ 自主自発的な児童会活動等、心と心をつなぐ教育活動の推進
- ④ 子ども一人ひとりに活躍の場をつくり、自信と誇りを育てる教育活動の推進

- ⑤ 自尊感情や思いやりの心を育て、生命を大切にする心を育てる「いのちの教育」の推進
- ⑥ 子ども一人ひとりについての共通理解、積極的な生徒指導と迅速な対応



- (3) たくましい心と体を培い、ひとみ輝く子どもの育成
 - ① 学ぶ意欲を大切にし、わかる喜びを実感できる授業づくり
 - ② 基礎的・基本的な力の定着と学力の向上、活用力を育む授業の実践
 - ③ 仲間と切磋琢磨し、学び合い高め合う学習集団づくり《一人ひとりに活躍の場と自信を》
 - ④ 学校研究の積極的な推進と実践の交流を通じた担任力の向上
 - ⑤ 夢や希望を持ち、目標に向かって一生懸命に努力する子どもの育成
 - ⑥ 思いやりの心、一人ひとりの生命を大切にする心を育てる「いのちの教育」の推進

※家庭との連携(家庭と一緒に取り組んでいること)

あかるく

元気な返事とあいさつ

かしこく

家庭学習の習慣化
家庭読書

たくましく

早寝・早起き・朝ごはん
(規則正しい生活リズム)
手伝い

地域と連携した体験的な学習・
「かかわり」の視点で見た教育活動

- (1) 目標に向かって 心一つに
 - ① 縦割り班によるそうじ、給食
 - ② ジャンボ遊び、ペア学年による交流
 - ③ 児童会活動、運動会の取り組み
- (2) 地域の文化や自然を生かして
 - ① カヌー教室、スキー教室
 - ② 森の学校、川の学校、学びの旅
 - ③ 総合的な学習の時間で
 - ④ PTA学年行事で
- (3) 世代をこえて
 - ① 保育園児と児童、児童と中学校生徒の交流
 - ② ケアハイツ訪問
 - ③ 祖父母学級
 - ④ 老人クラブや婦人会との交流
 - ⑤ 放課後子ども教室
(西川っ子放課後プラン)
- (4) 小中一貫教育推進の中で
 - ① 学校研究としての取り組み
 - ② 授業研究による西川中との交流
(小中一貫教育の理念・授業における指導観の共有、小学校・中学校間の出前授業)
 - ③ Q-Uテストの活用
 - ④ 地域を生かし児童生徒の実態にあわせた9年間を見通したカリキュラムの作成